2020/10/01 地域課題探究型学習事業 Newsletter Vol.24

地元活住化学为一学工作

~Explore our local community and ourselves~

Vol.23 に引き続き、SDGs交流会 with 地域人材+教員の振り返りを掲載します。今回は、開発目標 | 6、 | 7(横断分野)を取り上げます。

グループ① ファシリテーター 小加部 翔和さん

課題① 紛争・内戦への支援

現状は海外で子供が兵士として 動員されている=教育を受ける 機会が減少

中津川市としてなにができるか

- ・企業や NPO などを通して支援 金を送る。中津川市として募金の 呼びかけを行う
- ・小中学校で「海外の現状」や募金についても授業を行う。

課題② 暴力・差別問題

現状は目に見えない言葉の暴力 が増加

中津川市としてなにができるか

- ・もっと気軽に相談できる場を増 やす
- ・互いを理解できるような心の 広いこどもを教育ではぐくむ





グループ② ファシリテーター 小林 興輝さん

世界の現状

- ① 戦争・・世界中の子供の 4 人に 1 人が被害を受けている
- ② 教育・・1 億 2400 万人もの子供が家庭状況により勉強ができない
- ③ 差別・・容姿や LGBT など様々な差別が身近なところで起きている

目標達成のために

- ・多様性を認め、協調していく
- ・募金や選挙など積極的に社会参加し、世の中を変えていく





グループ① ファシリテーター 可知 愛菜さん

課題

少子高齢化における私たちの地域での持続可能な町づくり

17 パートナーシップで 目標を達成しよう

情報

高齢者と若者の交流の場が少ない

- コンビニやスーパーなどが少なく、交通手段も不便
- →若者が住みやすい環境とは言えない

分析

地域の伝統を守りながらも若者ならではの意見やアイデアで若者が行動しやすく、どの世代も住みやすい町へと改良していく。高齢者と若者の交流の場を増やす

私たちにできること

近所の高齢者と積極的に関り、意見交流の名を作る。普段しようしている SNS を有効活用して SDGsについての情報をシェアし、若い世代の人たちに自分たちの地域の取り組みを知ってもらう。







グループ② ファシリテーター 大畑 徹也さん

課題

- ・中津川には子供の数が少ない→子育てしやすい環境の整備 公園を整備し、安全に楽しめる遊具を作る(地元の建設業への協力依頼)
- ・学校間で連携を強くし、学生間で課題を解決していく
- ・高齢者との交流を若者が積極的に行う

まとめ

すべてに共通して言えることは

「人と人との関係を強めていくこと」よって最小限の個人間の関係を拡大していき、そこから企業、日本、最終的には世界という最大限なものにしていく

